

融合ビッグバンで未来を創ろう！

矢作川と三河湾に育まれた、歴史あるまち -



佐久島



西尾まつり



一色大提灯まつり



吉良ハワイアンフェスティバル



鳥羽の火祭り

タイトルに込めた私たちの想い

「融合ビッグバンで未来を創ろう！」

というタイトルは、未来への挑戦をすべての市民に呼びかけたものです。

「融合ビッグバン」とは、

ビッグバンによって宇宙が誕生したことをたとえに、この合併が生み出す可能性と多様性の大きさをあらわしました。特に、この合併の最大の特徴は、産業的にも、地勢的にも、極めて多様な地域が、均質な歴史と文化を背景に、一つになるということです。このことは計り知れない可能性の源泉になります。

特に未来がこれまでの延長線には考えられない時代にあっては、多様であることは、そのまま、生き残るための最大の武器になります。また、地域文化の均質性は、合併による確執を弱める効果が期待できます。

「未来を創ろう」とは、

市民自身が主役であり、実践者であり、責任者であることを宣言した言葉です。まさに、「市民の 市民による 市民のための 新西尾市」を目指す責任が私たち一人ひとりにあり、その責任を各々が果たす中にこそ、その人の居場所と、幸せの実感を持つことができます。



西尾城址公園



佐久島渡船

新「西尾市」の誕生です。

矢作川と三河湾に生まれ、歴史・文化資源に恵まれた、西尾市、一色町、吉良町、幡豆町が一つになることで、17万の人と160km²の土地からなる西三河有数の都市に生まれ変わります。

温暖な気候のなかで、人情味溢れる住民自らが、「誇りを持って暮らせるまち」を創りあげるスタートラインに立ちました。

豊かな水、溢れる光、風光明媚で豊穡な土地と海、そこから生み出される幾多の特産物、歴史と文化が薫る品格のあるまち並み。誰に聞かれても自信を持って自慢できる、誇りを持てるまちの条件は万全です。

これらをさらに洗練させ、アピールすることで、人の交流が生まれ、「訪れたいまち、住みたいまち」が誕生します。

一方、市民生活を支えるためには、雇用の場が確保されていることが必要です。

道路、鉄道などの交通基盤を整備し、企業誘致を積極的に行うとともに、都市基盤を整備し、豊かに生活できるまちづくりを目指します。

市民が安心して暮らしていくために、子育てや教育、医療環境の充実、高齢者や障がいを持つ人がいきいきと暮らせるよう、地域をあげて取り組みます。

防犯、防災、交通安全、環境保全にも、安全・安心な暮らしができるよう改善します。

市民、企業、行政が共に考え、より良いまちづくりのために行動します。

市民全員が新西尾市の素晴らしさを再確認し安全・安心・快適に暮らしていくために、「情報共有」と「住民参加」を原則とする新たなまちづくりに積極的に取り組みます。



吉良上野介義央公像



三ヶ根山劔行々から三河湾を望む

ひと つど ひと おこ 人が集う。人が興す。

西尾幡豆地域は、海岸部や山間部の自然資源、豊かな特産物、そして歴史・文化資源などを有しています。これらの観光資源を最大限に活かし、ものづくり現場に触れる産業観光と風光明媚な三河湾、歴史を活かした観光ルートを確立し、観光及び生活関連商品の全国発信をすることにより、交流人口の増加を図り、来客者をひきつける個性豊かな交流圏づくりを目指します。そして「訪れたいくなるまちは、住みたいくなるまち」の実現により定住を促します。

観光振興

佐久島から一色さかな広場、吉良ワイキキビーチ、梶島、寺部海岸、前島、沖島、日産マリーナ、こどもの国、三ヶ根山といった風光明媚な観光資源、そして西尾の城下町・岩瀬文庫、吉良の華蔵寺・金蓮寺、幡豆のハズ観音や一色の大提灯などの歴史的な観光資源を豊富に有しています。

「西尾まつり」、「一色の大提灯まつり」、「吉良のハワイアンフェスティバル」、「鳥羽の火祭り」、「はずストーンカップ」など地域に根ざした祭りや行事、「潮干狩り」、「地引網」、「イチゴ狩り」、「お茶摘み」など体験型のイベントと、ものづくりの現場に触れる「産業観光」を効果的に組み合わせ、「観る観光」だけでなく「体験する観光」、「食の観光」を確立し、イベントづくりや全国への情報発信に力を入れていきます。

また、観光施設を巡回できる小型バス・船の導入や、散策コースの歩道、休息施設、駐車場、公共トイレなどのハード面の整備と、健康づくり散策の「お勧めルート」などを提案するソフト面の充実を進め、観光ネットワークの形成を図ることにより、交流人口の増加を促します。



潮干狩り

特産振興

当地域の特産物としては、水産物・水産加工品の分野で「うなぎ」「あさり」「えびせんべい」「のり」など、農産物の分野で「抹茶」「イチゴ」「カーネーション」「洋ラン」などが、全国・県内でも有数の水揚げ、生産を誇り、既に一定の知名度を獲得しています。



三河産のあさり



カーネーション

特に「一色産うなぎ」「西尾の抹茶」は、特許庁の地域ブランドにも認定されています。



地域ブランドマーク

これらの特産物の生産拡大やPR活動に一層の力を入れ、さらなる市場性の確保に努めていきます。この他にも、当地域には、「トラフグ」「車えび」「大あさり」など、新たなブランド化が期待できる生産物が豊富にありますので、これらを活かした特産振興施策を進めていきます。

また、販売のみを目的とした振興策にとどまらず、「潮干狩り」「地引網」「お茶摘み」「イチゴ狩り」などの体験型コースと連携させ、特産振興と観光振興が一体化した施策の構築に努めていきます。



イチゴ

名物グルメの創作

観光では、「食」も大きな楽しみです。当地域は国内・県内でも農産物や水産物の有数の生産地であり、多くのものが生産されています。例えば、西尾おでん、西尾スイーツ、あさりの豆味噌焼き、佐久島の磯カキ茶漬けなどの地元産品を使ったグルメ商品も考案されています。さらなる名物グルメの創作を進め全国に情報発信をすることにより、日帰りや宿泊での観光客を呼び込み、交流人口の大幅な増加が期待できます。



西尾おでん



西尾スイーツ



あさりの豆味噌焼き



佐久島の磯カキ茶漬け

販売網の拡大・充実

当地域は国内・県内でも有数の農産物・水産物の生産地であり、多くが多品目で生産・水揚げがされています。

道の駅にしお岡ノ山には農産物、一色さかな広場には水産物の直売所が整備されています。これらの場所での名物グルメや農水産物の販売の強化が、当地域のさらなる活性化につながります。

また、最近では形や大きさが規格外の農産物や水産物、いわゆる「わけあり品」も人気がありますので、その販売に力を入れることも有効と考えられます。

さらに、「お取り寄せ」として、インターネットからでも購入できるように販売網を強化することで、販路の拡大が可能となります。

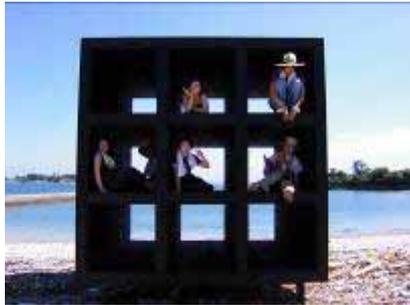


一色さかな広場



道の駅にしお岡ノ山

魅力のある地域の確立



佐久島おひるねハウス

西尾幡豆は気候が温暖で過ごしやすく、自然豊かで優良な地域です。地域のバランスを考えた住宅地の整備や促進を図り、定住人口を増やす施策を積極的に推進していきます。

「訪れたいくなるまちは、住みたいくなるまち」という発想から、観光などで当地域を知っていただいた方に第二の人生を送ってもらえるような都市整備などの地域基盤づくりを行います。



佐久島クインガルトン

移住を希望される方の中で、家庭菜園的な農業を楽しむ方には、適度な広さを持つ宅地物件や市民農園も必要と考えられます。市民農園で地元農家の方から技術指導をいただくなどの取り組みにより、地元住民とのコミュニケーションの場としても期待できます。



市民農園

特に当地域の唯一の有人島である佐久島は、近年、マスコミに取り上げられ注目を浴びており、移住先としても有望です。新しい渡船場を整備し、観光産業を盛り立てていくとともに、第二の人生での移住だけでなく、若い世代への移住の掘り起こしも目標とし、PR活動を行います。

きずな つく きずな むす 絆を創る。絆で結ぶ。

道路網の整備促進や公共交通も併せた交通ネットワークを構築し、利便性を高め活力のあるまちづくりを目指します。

さらに、都市環境も整えることで、快適なまちづくりを目指します。

交通網の整備

自動車交通の円滑化、防災機能、地域間の連携及び都市間交流など、各分野のニーズに対応するために、積極的な道路網の整備を行います。高規格道路整備や拡幅工事を行い、名豊道路(国道23号)・名浜道路のような東西の軸だけでなく、南北道路(安城一色線)・西尾幡豆線といった南北の軸を整備することで、基軸となる道路網を確立します。現在も交通量の多い名豊道路・国道247号・衣浦蒲郡線・衣浦岡崎線は4車線化を行うことでスムーズな道路網を構築できます。

また、市街地では災害発生時に緊急車両が通れるような整備や、火災の拡大を防ぐための緩衝帯の整備を行います。また、交通事故の低減、渋滞の緩和のための対策整備も行っています。

鉄道においては、当地を訪れる観光客や住民の足としての利用を促すことや、名鉄西尾・蒲郡線沿線の宅地造成を行い利用者の増加を促します。さらには、新安城駅から西尾駅又は福地駅までの複線化の実現を目指し、名古屋都心まで40分以内で通勤できるよう利便性の向上を図っていきます。また、各駅前にはパークアンドライドが可能となるよう駐車場を整備するとともに、ロータリーなどの確保にも努めていきます。



名鉄西尾・蒲郡線

巡回小型バスの主な利用形態としては、観光客が観光地を訪れる際に利用する場合と、若年者や高齢者といった地域住民が生活する上で利用する場合が考えられます。これらの二つの利用形態と、電車の利用を併せた、最適な路線の構築を考えていきます。



くるりんバス

企業誘致

工場等の企業誘致を積極的に行うことで、多くの人が当地内で就職することが可能となり、住民が安定した生活を送れるようになります。

クリーンエネルギー分野（大型太陽光発電施設、バイオマス発電施設）やリサイクル技術分野など、今後の成長を見込める分野の企業を重点的な誘致対象として誘致活動を進めていきます。

また、当地域の豊かな農業資源を活用し、農産物の加工など新たな分野の企業誘致にも努めます。



自動車部品メーカー



流通企業



工業団地

都市基盤整備

安全・安心な魅力ある市街地の再構築、未利用地の利用増進、駐車場・駐輪場の整備、区画整理事業などを積極的に行います。また、西尾駅前広場の有効利用も含めて快適な都市環境をつくりあげていきます。

このほかに、公式野球場などを備えた野外スポーツ施設、総合運動公園や身近な公園の整備を進めます。



西尾駅前広場

あんしん きばん あんしん ちから
安心を基盤に。安心を力に。

次代を担う人材の育成のため、子育て支援体制の充実や先駆的な学校教育の実践を図るほか、芸術文化・歴史学習や食育の推進・提供等に努めます。また、保健、医療、福祉の相互連携により、健康でいきいきと暮らせるまちづくりを進め、高齢者や障がい者をはじめ、誰もが安心して生きがいを持って暮らせる地域づくりを進めます。

子育て

少子化や核家族化など、家庭環境の多様化に対応し、安心して子育てができる環境を整備する必要があります。そのためには、子育て支援の拠点の設置や、子育て中の父母が孤立せずに交流できる施設や相談員を設けるなど、子育てに対する不安を取り除くためのサポート体制を確立していきます。

また、保育所の整備・サービスの充実を図り待機児童を減少させます。保育所を建設する場合は、地域要望の強い場所での建設を検討します。また、施設の拡充が可能な保育所であれば、地域のお年寄りの交流の場を併設した整備も有効と考えられます。



学童保育の施設についても同様に施設整備と充実を図っていきます。

ファミリーサポートセンターなどの保育サービスについても充実と利用の促進を図っていきます。



子育て支援 親子ふれあい広場

教 育

学校教育

子ども達の確かな学力、豊かな心、健やかな体を育成し、「生きる力」を育む教育とともに、地域の中で信頼のある学校づくりを目指します。そのために「特色ある学校づくり」「開かれた学校づくり」「人間性を育む教育」を推進し、次世代を支える人材育成に努めます。

また、地域の歴史や文化、産業などを学ぶ機会を設け、「地域のことを知り」「地域に愛着と誇りを持ち」「地域とともに生きる」子ども達を育てる教育に努めます。



親子ふれあい教室

生涯学習

誰もが、いつでも、自由に学習機会を得られ、その成果を適切に評価され発表できる生涯学習社会を構築します。

また、社会と上手く接点を見いだせない人達や、地域と接点を持ちづらい外国籍の方にも生涯学習を通じて社会に融合できるように努めます。

歴史文化教育

文化・芸術を身近に感じられる機会を増やすことにより、創造性を高め、感動を共感できるような人材を育成し、新たな芸術家の誕生を手助けしていきます。



本物の舞台芸術体験事業



三河万歳

また、伝統芸能や祭りの保全など、これまで先人が築き上げてきたものを次世代に継承していきます。

医 療

近年、医療に対しての不安が広がっています。こうした状況の中、まず、地域の基幹病院として西尾市民病院の充実に努めることが重要です。

地域の二次救急医療を担う病院である西尾市民病院と「かかりつけ医」である民間病院等の機能分担や連携に主眼を置いた施策を進めます。

休日・夜間の救急医療体制の充実のため、医師・看護師の確保、休日診療所の設置、消防との連携が必要です。消防は救急救命士が行う処置の高度化等にあわせた隊員資質の向上と装備充実に努めるとともに、住民向けに救急救命講習等を行い救命率の向上を図っていきます。

また、安心して出産できるよう地域内の産科医の確保とサービスの充実も同時に図っていきます。



AED 講習会

さらに、予防医療を広める健康教室・講習会・講演会を開催したり、各健康づくりグループを支援します。また、専門知識を持った医療・治療・リハビリテーションなどのサービスが提供できるよう保健機能の充実に努めます。

佐久島については、島民が毎日安心して生活できるよう、救急医療体制を整えるとともに、医師の確保に努めていきます。



西尾市民病院

高齢者

入所型の高齢者施設の誘致、地域コミュニティづくり、生きがいの持てる活動の拡充や高齢者を支援する市民団体などの確立を図り、高齢者が安心して暮らせる地域を目指します。

また、一人暮らし高齢者、体が不自由な高齢者といったサポートが必要な方へは、特別養護老人ホームや老人保健施設、居宅介護サービス、市民団体の組織づくりなどの拡充と、サポート側の人材確保、就業支援などの施策を進めていきます。

各介護サービスの内容・申込等住民が理解しやすい情報提供をします。



デイサービス



ボランティア演奏会

障がい者

障がい者への住民の理解を深める取組みを行うとともに、障がい者の社会参加を容易にするバリアフリーのまちづくりや働ける場の提供を進めます。



西尾駅エレベーター

また、障がい児については、福祉施設の充実だけでなく、親への支援などサポートする側への地域協力体制の整備、確立を目指します。



レクリエーションスポーツ活動

ちい き まも し ぜ ん まも 地域を守る。自然を守る。

住民の生命財産を守ることは必須であります。犯罪の多発、大雨や台風、地震といった災害、海面上昇など地球温暖化が主因と考えられる異常気象、火災、交通事故など、様々な不安要素を解消するための施策に取り組んでいきます。

安全安心

防犯については、犯罪への不安を解消するために、防犯灯などの整備を進めます。また、青色回転灯防犯パトロールの実施、小学生などの集団登下校、不審者情報の共有など地域における防犯ネットワークを確立し、治安の強化にあたります。



青色パトロール

火災や水害や地震などの災害については、防災用の資材の備蓄、海岸の護岸や河川の堤防補強などの整備を進めます。各地域においての自主防災組織の確立、地元企業との災害援助協定の締結、消防団組織の充実を図ります。



消防団

また、防火意識の向上を図るための教育や防災訓練など、非常事態が起きた際には共助できるような体制をつくります。

交通安全については、歩道・自転車道の設置や道路の拡幅などの改良・整備、交通安全教育などを実施していきます。



集団下校

環 境

地球規模での温暖化問題が深刻化する中、低炭素社会の実現のために、温室効果ガスの発生を抑制し、一人ひとりのエコに対する意識の向上を図ります。



太陽光発電

身近なゴミの問題として、廃棄物のリデュース（発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再生利用）の3Rを推進していきます。特に、リデュースに力を入れ、家庭や事業者のごみ減量を積極的に推進していきます。

また、良好な生活環境をつくるために、環境ボランティアを組織し道路や河川・海岸での定期的な清掃活動を実施します。さらに、不法投棄に対する罰則を強化するとともに、ポイ捨てやペットのふん害対策として、モラルの強化とマナーの向上を促します。



海岸清掃活動

そのほかに、アダプトプログラムを活用した公園、校庭などの市街地の緑化や、海、山、川の豊かな自然環境の保全に努めます。こうした取り組みにより、子どもや孫に多くの緑を残し、将来も自然と人間が共生できるような環境をつくります。



道路美化

アダプトプログラム（里親制度：まちを自分の養子と見立てて、美化・管理を行うこと）

とも い 共に生きる。とも つく 共に創る。

各地域の資源や特性を踏まえ、個々に持てる知識・経験・特技等の能力や意欲を活かしたまちづくり・地域づくりに取り組みます。住民が、主体的・積極的に、生きがいと誇りを持ち、「ふるさと」への愛着を増すような新市をつくります。

コミュニティ活動の 支援

地域の課題を地域で解決する仕組みが必要であり、住民自身が生き生きしたコミュニティをつくっていくための組織づくりや活動の支援を図ります。

活動の舞台づくり

「コミュニティ活動の支援」及び「NPO活動の活性化」をより強固なものにするための環境づくりとして、活動拠点及び情報共有のための仕組みをつくっていきます。

各地域でこの役割を持たせると共に、その運営は、地域が自主的・主体的に行っていきます。

これらを統括するための中核的施設の設置を検討し、情報発信の拠点とします。

NPO活動の活性化

いつでも、どこでも、だれでもがその能力と時間を活かして活動できるよう、市民主体のNPO・ボランティア活動の充実を図ります。



～ 委員提言 ～

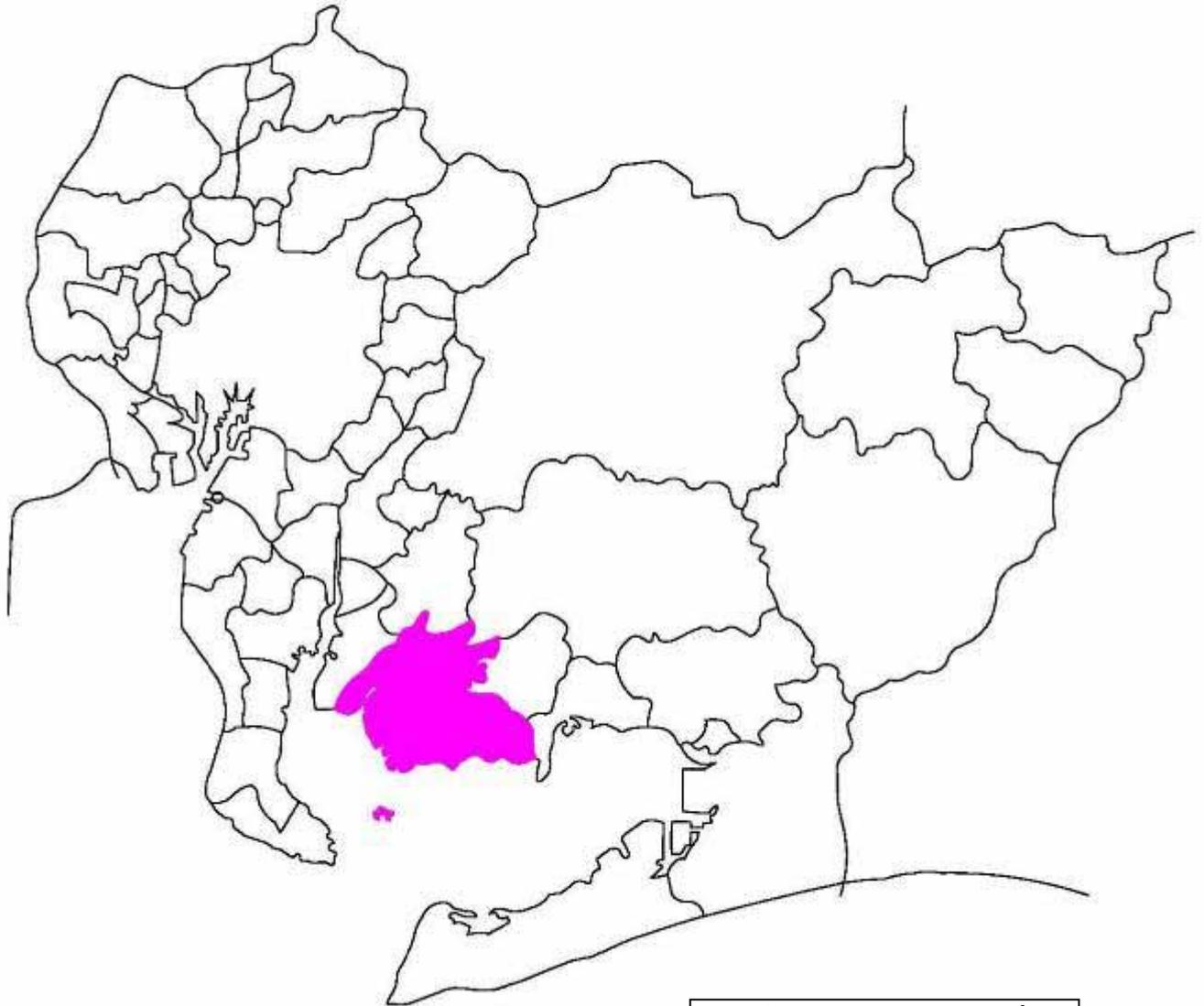
西尾市、一色町、吉良町、幡豆町が一つになることで集積する豊かな資源と地域特性を十分に活かし、また、地域間が連携、協働し、自立発展するまちづくりを進めなければなりません。このため、西尾幡豆の将来の姿を描き、今後策定される「新市基本計画」への提言といたします。

平成 21 年 12 月

西尾幡豆のグランドデザインを創る有識者会議委員名簿

氏 名	団 体 名 等	備 考
小 島 誠	西三河農業協同組合	西尾幡豆組織
高 須 芳 光	西三河漁業協同組合	〃
平 岡 将 暢	社団法人西尾幡豆青年会議所	〃
柴 田 高 広	西尾商工会議所	西 尾
磯 貝 総一郎	全国身体障害者施設協議会	〃
鳥 山 欽 示	西尾市まちづくり NPO 団体	〃
服 部 憲 明	一色町商工会	一 色
岡 田 明 美	一色町生活改善実行グループ連絡協議会	〃
鈴 木 正 昭	一色町老人クラブ連合会	〃
長 坂 正 志	吉良町商工会	吉 良
加 藤 洋 一	中部古典芸能普及振興会	〃
稲 垣 敏 子	町民まちづくり会議	〃
鈴 木 茂	幡豆町商工会	幡 豆
牧 野 匠	幡豆町社会福祉協議会	〃
福 田 利 郎	幡豆町教育委員会	〃
河 隅 彰 二	愛知県地域振興部地域政策課主幹	愛知県

圏域図



面積 160.34 km²
人口 169,032人
(H21.12.1 現在)

発 行	西尾市企画部企画課 一色町総務部地域協働課 吉良町総務部企画課 幡豆町企画課 西尾幡豆合併推進プロジェクトチーム
住 所	西尾市寄住町下田22番地
電 話	0563-56-2111(代)
F A X	0563-56-0212
E - m a i l	kikaku@city.nishio.lg.jp

この提言書は、ホームページにも掲載しています。
<http://www.city.nishio.aichi.jp>